

ウラン濃縮工場への原料ウランの受入れ

ウラン濃縮工場は、現在、112.5トンスWU/年規模で濃縮ウランを生産しています。事業変更許可を取得した2号カスケード設備450トンスWU/年について、2025年中に年間150トンスWU/年まで拡大し、残る300トンスWU/年についても2028年度中の完成に向け、安全を最優先に新型遠心機への更新工事を進めています。

順調に設備の更新が進んでいることから、10月にウラン濃縮工場へ原料ウランを受け入れます。
(受入れは2014年以来11年ぶり)

【原料ウラン受入れまでの流れ】

①原料ウランを積んだ輸送船が海外からむつ小川原港へ着岸



②原料ウランを輸送船から輸送車両にクレーンで陸揚げ



③放射線量の測定や外観確認を実施



④専用道路で陸上輸送



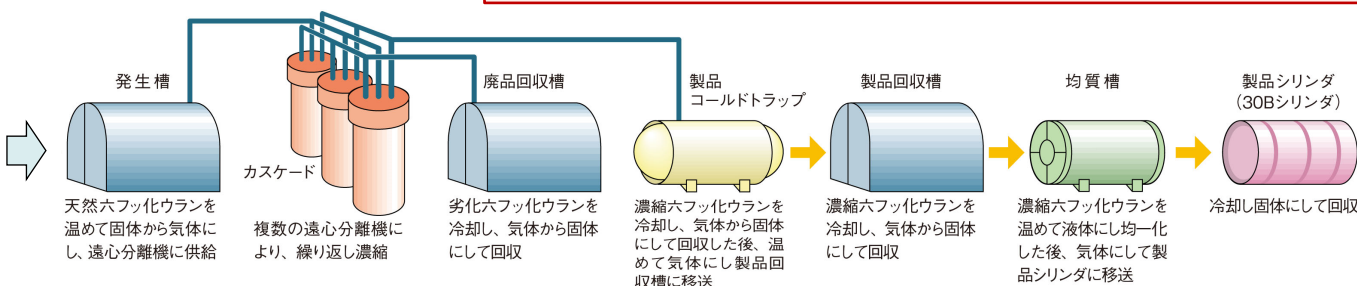
⑤ウラン濃縮工場に輸送車両が到着



⑥ウラン濃縮工場内でシリンダの受入れ作業を実施



現場公開予定



原料シリンダ (48Yシリンダ)



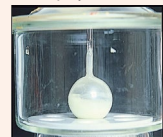
【原料シリンダ】

総重量：14.9 t
内容量：最大12.5 t
内容物：原料ウラン(六フッ化ウラン)

【今回の受入れ】

2025年10月
原料シリンダ 50本
カナダ (Cameco社)

六フッ化ウラン



【原料ウランの受入れ実績】

回数：計41回
(1991～2014年)
搬入量：約16,115t
(48Yシリンダ 1,299本)

【製品ウランの出荷実績】

回数：計38回
搬出量：約1,702t
(30Bシリンダ 876本)

国内で唯一のウラン濃縮工場を安全に運転し続け、日本のエネルギーセキュリティに貢献できるよう、事業に取り組んでまいります。

以上